

大学院特別講義

神経幹細胞における エピジェネティクス機構を介した遺伝子と 取巻く環境の相互作用

日時：平成26年9月19日(金)

18:00～19:30

場所：基礎研究棟 1階 大学院セミナー室

講師：九州大学大学院医学研究院

応用幹細胞医科学 基盤幹細胞学

中島 欽一 教授

講演要旨

神経幹細胞は、ニューロンとその機能を支持するグリア細胞（アストロサイト及びオリゴデンドロサイト）への多分化能を持った細胞である。どの細胞に分化するかは、細胞を取巻く環境と細胞内在性のエピジェネティクス機構の協調作用で決定される。この講義では、サイトカインや細胞間相互作用、酸素濃度、薬剤などが神経幹細胞のエピジェネティック状態変化を誘導し、その分化にどのような影響を与えるのか、また、結果として動物個体はどのような表現型を示すのかについて、私たちの研究成果を中心に紹介します。

この特別講義は、院生用講義「研究方法論」の授業とみなすことができます。

「研究方法論」を履修中の大学院生で、この特別講義に参加された場合は出席記録に開催者認印を押すことができます。

*** 興味のある方は、是非ご参加ください ***

問合せ・連絡先：薬理学 西堀 正洋 TEL&FAX 086-235-7140
E-mail mbori@md.okayama-u.ac.jp